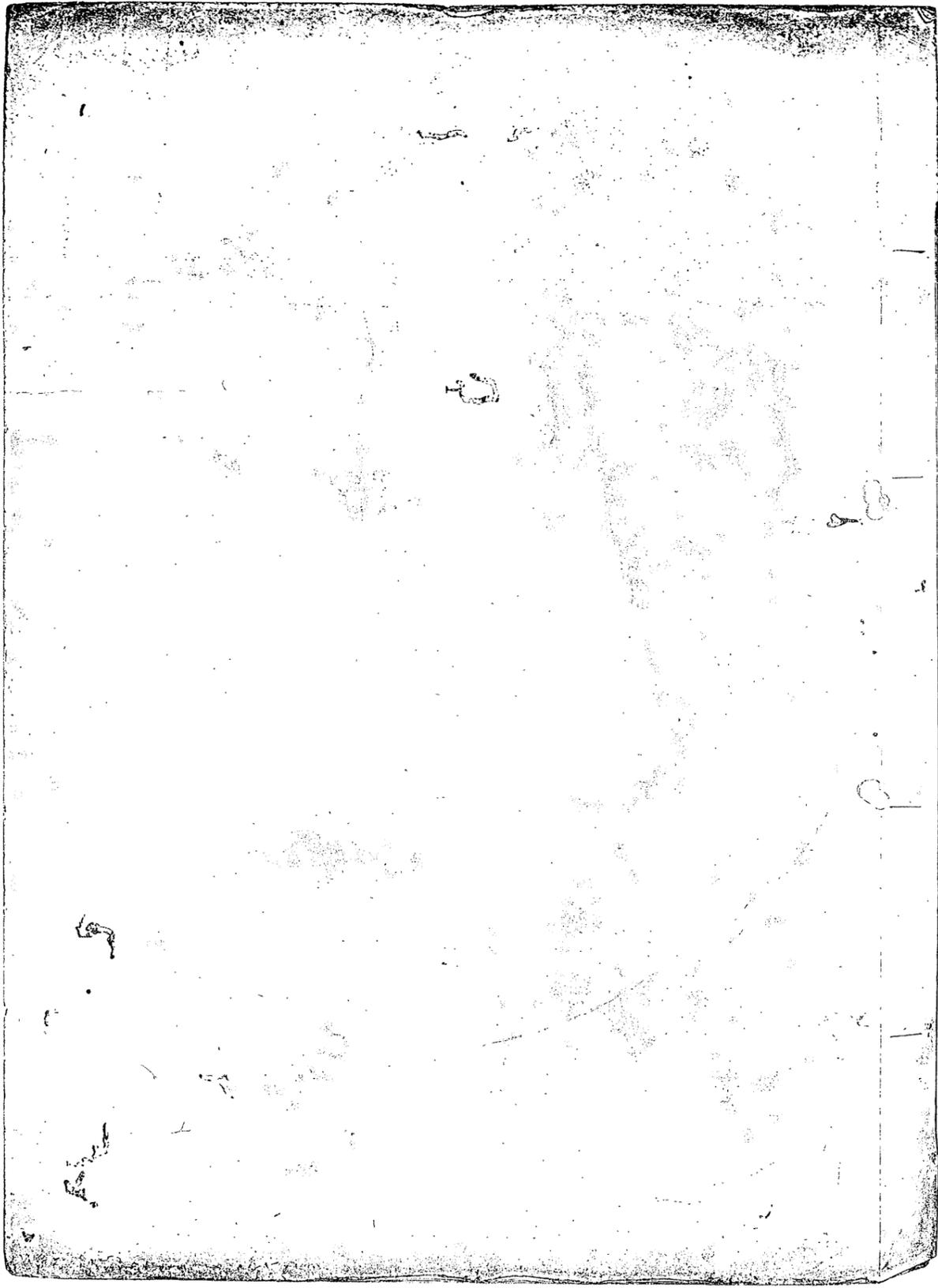


獨逸來翰  
十八百七十六年  
▽  
■

7-0073

0355



千八百七十六年獨來國翰

日 月	番 號	自 誰	至 誰	大 意
一月五日		獨辦理公使 アイゼンデヘル	寺島 卿	兵庫税關長ヨリ獨人キウチヨ「商會及同方領事ニ對スル訴 訟一件」ニテ昨午十二月十八日申遣シタル回答
七日		全	全	兵庫在留獨人靴製造者「イトダム」氏ニ旅行免狀請求
十日		全	全	來ル十二月延邊館ニ招待ノ回答
廿四日		全	全	「レマンハルト」商會ヨリ舊會津藩ニ係ル訴訟一件
廿七日		全	全	東京在留獨商會「シンクレ」氏ニ旅行免狀請求
廿八日		全	全	以降ハ領事委任ノ者エ日本政府ヨリ證認狀相渡シ申遣ヒ答
二月三日		全	全	ロートムント商會ヨリノ訴訟一件ニ付「マ」氏陳述書其他ノ 証書類五通相添ヘ再應ノ慶分ラセフ
四日		全	全	右別紙 以上六通ハ不要ニ属シタルヲ以テ差歸セリ
		全	全	書記官「グロトシエ」氏ニ屬スル自用品横濱税關無妨通過ノ願



千八百七十六年獨來國翰

日	月	番	號	自	誰	至	誰	大	意
四月十九日				獨	辨	理	公	使	商人「エーブルヒアルド」氏旅行免狀請求
廿四日				全					器械者「アレムメル」氏旅行免狀請求
廿五日				全					獨逸國ヨリ辦理公使「送ル酒六箱横濱税關無妨通過ノ願
廿七日				全					兵庫在留獨逸領事「フランク」氏旅行免狀請求
廿九日				全					獨軍艦并ニ商船明細表貳部差進スル云々
									右別紙

千八百七十六年獨來國翰

日	月	番	號	自	誰	至	誰	大	意
三月廿八日				獨	辨	理	公	使	銀貨及ヒ墨銀「我が金貨トノ價格比較改正ニ付右報知ノ回答
廿九日				全					獨教師「ドクトルヒルゲンドルフ」氏旅行免狀請求
全				全					獨商船明細表二冊差送ル旨申出
三十日				全					右別紙 貳丹ハ書籍掛リニ廻ス
四月十一日				全					四月一日ヨリ日曜日ヲ以テ休暇ト致シ候旨申遣シタル回答
十二日				全					獨教師「ヒルゲンドルフ」氏旅行免狀請求
十七日				全					キウチヨウ商社ヨリ差出シタル偽書書付付致兵庫在留獨逸領事「裁書差進云々
									右別紙 添
									商人「エンモリス」並ニ裁縫社員「ミリンハッセン」兩氏旅行免狀請求



千八百十年 國 翰									
日	月	番	號	自	誰	至	誰	大 意	

千八百七十六年 獨 國 來 翰									
日	月	番	號	自	誰	至	誰	大 意	
五月十四日				獨	辨	寺	島	大	平山建碑一條相濟候ニ付謝禮申出
十六日				獨	辨	寺	島	書	記官「グトレニミ」氏旅行免狀請求
廿二日				獨	辨	寺	島	ウ	エストワフル」氏旅行免狀請求
廿六日				獨	辨	寺	島	控	訴上告手續書落手ノ回答
六月十四日				獨	書	全		書	記官「グトレニミ」氏自用葡萄酒箱納稅處稅金返却有度申出
廿六日				獨	辨	全		國	旗ハ同國軍艦到着次第差進スル云々
三十日				獨	辨	全		ゲ	バウエル」氏森田忠兵衛家作ニ轉居ノ報知



千八百十年國翰								日 月	番 號	自 誰	至 誰	大 意

千八百七十六年獨國來翰								日 月	番 號	自 誰	至 誰	大 意
								八月六日		獨辦理公使 アイゼンデン ヘル	鯨島大輔	兵庫在留商人エ ストマン氏旅行 免狀請求付同 野縣令高措令 之ヲ
								十二日		全	全	婚姻規則類送 致有之度云々
								廿日		全	全	獨逸人ト日本 人ト婚姻一件
								廿二日		全	全	函館領事換任 一件ニ付書記 官同野工發足 ノ報
								廿四日		全	全	北京在留獨 公使「マイ ブランド」氏 差送ノ候物 申渡瀆稅關 無妨通過願
								廿五日		全	全	京阪間鐵道 落成ニ付外國 人旅行ノ儀 ニ付云々ノ 回答



千八百七十六年獨國來翰

月日	番號	自誰	至誰	大意
全月廿六日	百十八	全	全	ヒ子夕ノ彌横須賀ニ於テ小銃ヲ以テ水面浮的向ニ發射致度音アリ 遊獵規則御依頼ニ付別紙差進云々
全月廿七日	三百六十一 百二十	全	全	別紙 添
全月三十日	百廿一	全	全	航海船衝突規則差送ル云々
全月全日	百廿二	全	全	別紙 摺物一葉 獨逸驛連年報差進スル云々 別紙 書門内務省ニ廻ス

千八百七十六年獨國來翰

月日	番號	自誰	至誰	大意
九月廿八日	百六	獨辨理公使 アイゼンデヘル	寺島卿	外務卿御歸京ノ祝詞
十月七日	百八	獨辨理公使 アイゼンデヘル	寺島卿	同人及ニ東洋ノ船艦長謁見ノ旨ノ諾書
全月十三日	百十一	全	全	別紙 言上振 但シ之ハ艦長ヨリノモノニシテ 公使ヨリ言上振馬ニ當省ニ廻ス
全月十七日	百十四	全	全	ヒ子夕ノ彌軍艦横須賀造船所ニテ致修復音
全月十九日	百十五	全	全	獨逸國戰旗御用達候音
全月廿五日	百十六	全	全	朝鮮國ト修好條規差進シタル謝書 小笠原島取締規則差進シタル謝書





千八百七十六年獨來國翰

月日	番號	自誰	至誰	大意
十一月一日	百廿三	獨辦理公使 アイゼンデール	寺島卿	獨遼皇帝ヨリ山村氏ニ給與ノ金時計壹箇差進スル云々
全月六日	百廿五	全	全	清国政府ニ於テ布告相成候沿海船隻ヲ保護スル章程差進スル云々
全月全日	百廿六	全	全	獨軍艦商船追加目錄差進スル云々
全月十日	百廿八	全	全	別紙 一二添 海軍省ニ廻付セシラシ
全月十四日	百廿九	全	全	下總牧羊場之近傍ニ於テ放犬不相成儀承知之旨回答
全月十九日	百三十三	全	全	同国軍艦ヨリ夕陽船長夏島ニ向テ大砲打發候儀照會ノ旨申越
全月廿五日	百〇一	全	全	横濱領事ツツノリ帰濱ニ付代理者ヨリニルマシ氏帰館ノ旨申越
全月廿七日	百三十六	全	全	同人日用紙筆類入ノ函四筒横濱ニ到着ニ付無妨通関願
全月全日	百三十七	全	全	同人日用葡萄酒横濱差輸ニ付無妨通関願 横須賀造船所ニ於テ我軍艦修費之節懇親ニ預リノ謝詞

大 意